

滋賀県初！

金勝生産森林組合のJ-クレジットが認証されました

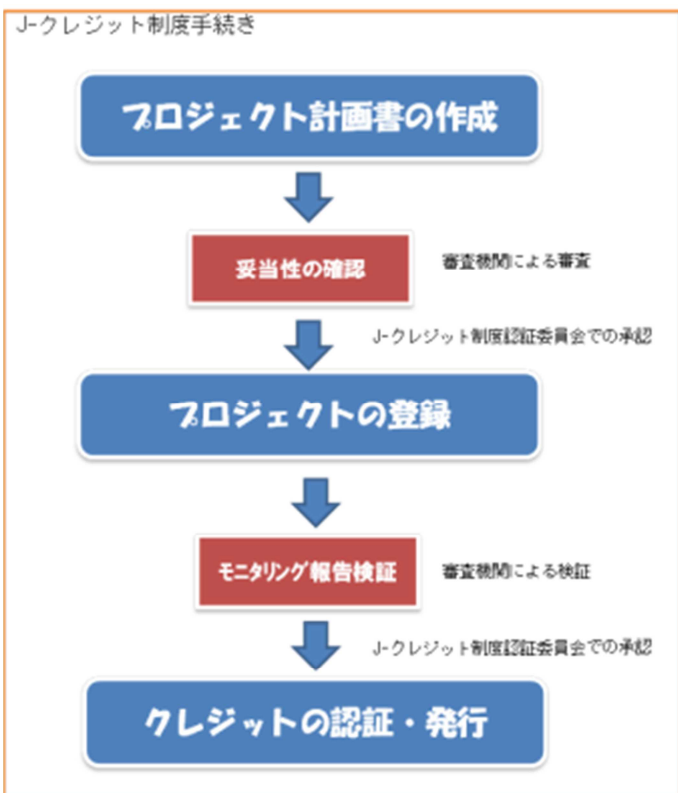
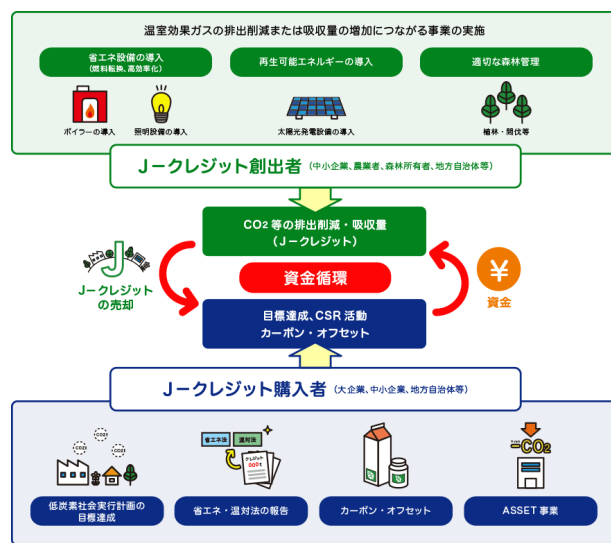
平成29年3月22日に開催されたJ-クレジット認証委員会において滋賀県金勝生産森林組合森林管理プロジェクトが森林経営活動としては滋賀県内では初めて認証され、151t-CO₂のクレジットが発行されました。昨年度、クレジットの認証・発行に向けた取組を1年間かけて行ってきましたので、今回はその取組についてご紹介したいと思います。

1 J-クレジット制度とは

省エネルギー機器の導入や森林経営などにより、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

本制度は、平成25年に国内クレジット制度とオフセット・クレジット（J-V E R）制度が発展的に統合した制度で、国により運営されています。

クレジットは売却することができ、クレジット購入者は、省エネや温対法の報告、カーボンオフセット、CSR活動などに購入クレジットを利用することができます。



2 J-クレジット制度の手続きと支援制度

J-クレジット制度に取り組みクレジットを発行するためには、計画、登録、認証の3つのプロセスが必要です。

まず、J-クレジットプロジェクトの基になるプロジェクト計画の作成が必要となります。このプロジェクト計画を作成するためには、森林経営計画が立っていることが必須条件となります。

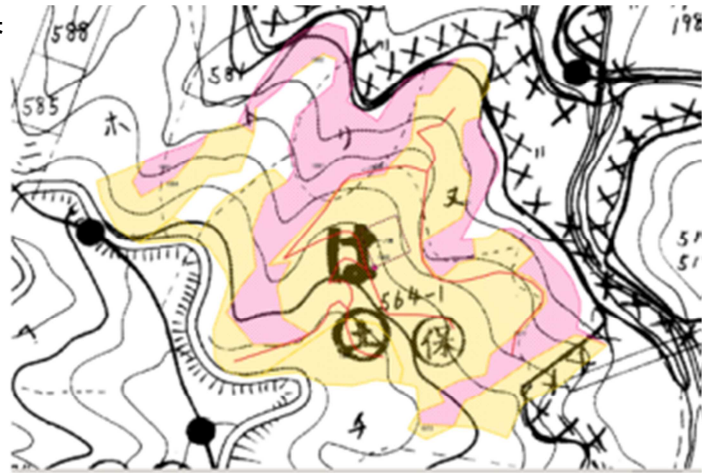
また、森林経営計画に基づき適切に森林管理がなされていることが重要です。

金勝生産森林組合では、平成26年度から計画書の準備を行い、平成27年度に登録、そして、平成29年3月22日にクレジットの認証がされました。

J-クレジットに取組むためには、通常費用がかかりますが、今回は、環境省の助成事業があるため、計画に必要な測量等の費用を除けば審査費用は一切かかりませんでした。

J-クレジット認証までの活動

樹種界の確認作業の様子と樹種界測量結果



森林簿ではわからないスギ・ヒノキの樹種境界を測量してより精度の高い二酸化炭素の吸収量を算出しました。

J-クレジットの認証までの様子



プロット調査で胸高直径、樹高を計測。



プロジェクト計画書について、審査機関から妥当性の確認を受ける。



4 今後の取組について

金勝生産森林組合のプロジェクト計画では2022年度末までに2,092t-CO₂の吸収量が見込まれています。平成29年3月22日に開催されたJ-クレジット認証委員会で認証され、そのうち151t-CO₂のクレジットが発行されました。

今後は、発行されたクレジットを誰にどのように売却していくのかというのが課題になってきます。

西部・南部森林整備事務所（本所）では、J-クレジットの売却方法や売却益を次の森林整備につなげていけるよう引き続き支援をしていきたいと思っております。

入会林野コンサルタント中央会議で 金勝生産森林組合の取組について事例発表

をおこないました

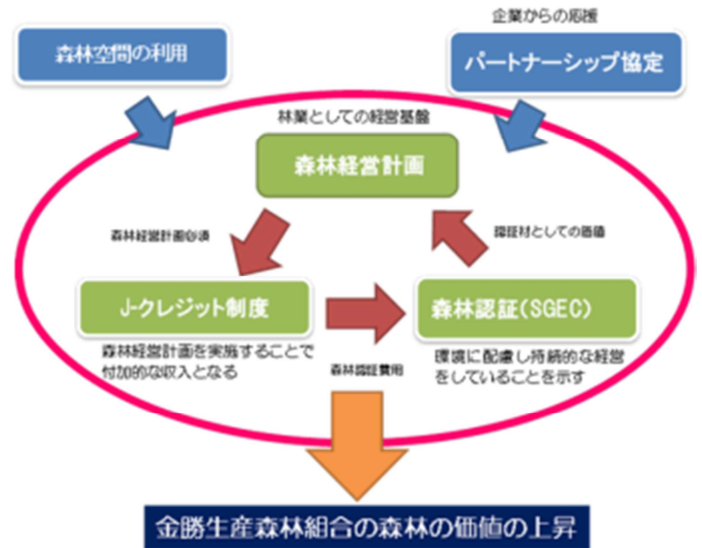
3月9日に農林水産省で開催された入会林野コンサルタント中央会議において、「共有林を宝の山に地域の山を次世代に引き継ぐために」という題で金勝生産森林組合の取組について事例発表をおこないました。

金勝生産森林組合で取り組んでおられる、J-クレジット、SGEC（森林認証）、パートナーシップ協定などについてお話しをさせていただきました。

入会林野コンサルタント中央会議は、毎年、全国各都道府県の入会林野・生産森林組合担当者と各都道府県から委嘱された入会林野コンサルタント（大学教授等）が参加される会議です。

生産森林組合だけではなく、地域の山をこれからどうして守っていけば良いのかということは、大きな課題ですが、林業を中心として様々な力を取り入れながら工夫を重ね、常に意欲的な取組をされている金勝生産森林組合は全国からも注目をされました。

西部・南部森林整備事務所（本所）の管内には金勝生産森林組合だけでなく、たくさんの生産森林組合があります。それぞれの生産森林組合に応じた支援をこれからもしていきたいと考えています。



↑ 金勝生産森林組合の地域の山を次世代に引き継ぐための取組

滋賀県西部・南部森林整備事務所平成 29 年度担当者

所長	杉本 茂
次長	杉山 忍（次長兼管理係長）
林業振興係長	北村 則彦
治山林道係長	柳井 洋
林業普及指導員	
林業振興係	北村 則彦
	芝田 理子
	前田 将宏



よろしく申し上げます